

水中のPFOS、PFOAの高感度測定

－水質管理目標設定項目にPFOS及びPFOAが追加－

PFOSとPFOAが水質管理目標設定項目に指定されました。

ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)について、2020年4月1日より水質基準の要検討項目から水質管理目標設定項目へ位置づけが変更されました。

目標値は2物質の量の和として、**50 ng/L以下(暫定)**とされました※¹。

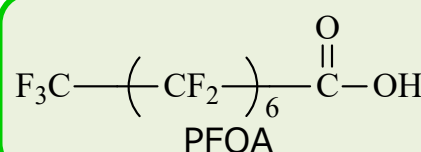
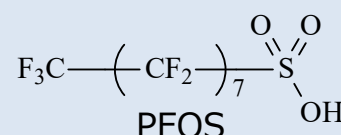
東レテクノは、PFAS(PFOSとPFOA等)の定量を実施しています※²。

※¹ 厚生労働省医薬・生活衛生局水道課長「水質基準に関する省令の一部改正 等について」の留意事項について(薬生水発0330第1～4号)(令和2年3月30日)引用

※² 環境省『平成26年度水環境中の要調査項目等存在状況調査』受託実績あり。環境からの汚染を防ぎ、**基準値の1/100以下の下限値 0.2 ng/Lの高感度分析が可能です。**

PFAS(PFOS、PFOA等)は撥水撥油剤、界面活性剤、半導体用反射防止剤、など幅広く使用されています。

しかし環境中で分解されにくく、残留性や生物蓄積性を示すことから、世界的に河川水等の水環境中に存在します。



LC/MS/MSシステム

